

【新規設定コース】

技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
H3-2	【通信活用研修】「採点ミスを防ぐ！」技能五輪における正しい評価法と注意点	【集合研修日】令和8年11月4日(水)	50	2(集合1)
開催会場	オンライン(各施設)	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	技能五輪全国大会における採点は、競技結果や選手の将来に直結する極めて重要な業務である。しかし近年、採点基準の解釈の揺れや記録ミスなど、ヒューマンエラーによる採点不備が発生している。本研修では、採点基準の正しい理解と適用方法、ミスを未然に防ぐ手順、そして公正で一貫性のある評価を実現するための実践的スキルを習得することを狙いとする。			
最低限必要な知識	特になし。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】			
	本研修は通信活用研修として実施され、集合研修の終了後に事後課題が提示されます。受講者は、指定された期日までに課題に取り組み、その結果を提出していただきます。 この事後課題は、添削等によりフィードバックが行われます。			
	事後課題：各職種における「採点ミス防止の是正フロー」「採点管理チェックリスト」を作成し提出する。			
	1. 採点基準の再確認□	0.5 H		
- 採点ミスの実態と大会全体への影響 - 主査に求められる視点(採点者+管理者)				
2. ミス発生のメカニズムと事例分析□	0.5 H			
- 過去のミス事例(誤入力・基準誤読・計算間違い、解釈の揺れ) - 原因分析(人的・手順・環境要因)				
3. 採点ミスのパターンと管理策□	0.5 H			
- 採点前・中・後の確認項目 - ダブルチェック体制の確立方法 - ミス発見のための進捗モニタリング方法 - エラー発生時の現場是正フロー - 集計結果の検証方法(クロスチェック・検算)				
4. グループワーク			1 H	
- 各職種の取り組みの紹介				
5. まとめ・質疑応答□	0.5 H			
- 本日のポイント再確認				
		2 H	1 H	
リニューアルの概要及びアピールポイント				
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	
	
担当教員(ユニット)	教授 菊池 拓男			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				